

# 取扱説明書

保管用

日立LED照明器具

**HITACHI**  
Inspire the Next

埋込形

TME4232-JM14E

●電源電圧は100～242Vまで対応

●照度補正形

日本国内用

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。  
ここに示した注意事項は、表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」  
内容のものです。



してはいけない「禁止」  
内容のものです。



実行していただく「指示」  
内容のものです。

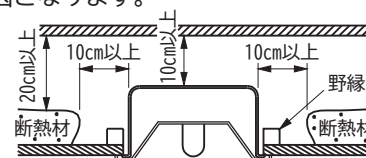
工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）



**警告**

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 本器具は一般の埋込み(M形)器具です。断熱材・防音材をかぶせて使用しない。  
使用する場合は右図のように器具との隙間を10cm以上離すこと。※火災の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。  
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）以外の電圧で使用しない。  
※火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 外郭が破損した直管LEDランプは使用しない。※感電やケガの原因となることがあります。



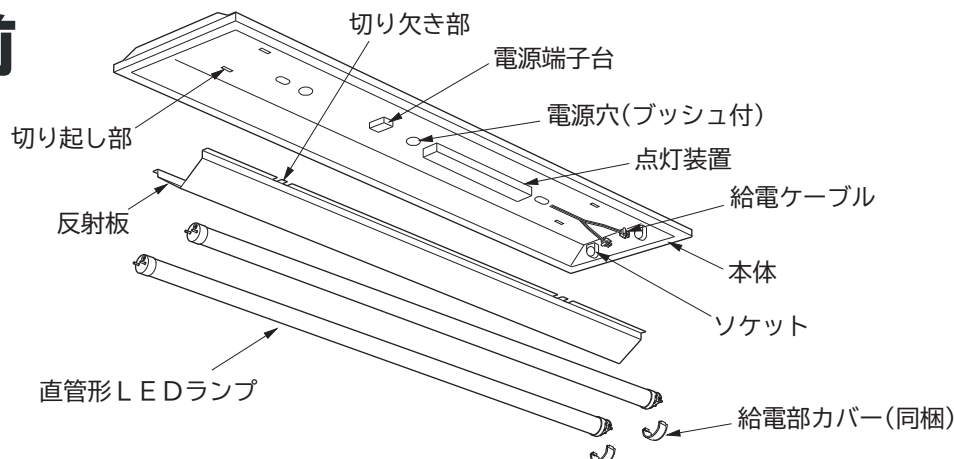
**注意**

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。  
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプに物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。  
※ランプの破損によりけがの原因となります。
- 落としたランプは使用しない。※感電・落下によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災・感電、不点灯、絶縁不良の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。

### その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※保護機能が作動し不点灯の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意する。  
不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで最大70台としてください。

## 各部の名前



# 取り付けかた

(図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)

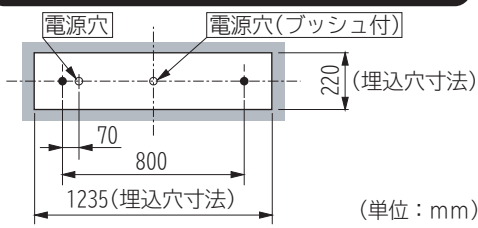
## 1 取付前に確認する。

- 天井に埋込穴、取付ボルトを用意する。
- 埋込穴の周りには、野縁を組み補強する。
- 取付ボルトは器具質量(表1)に十分耐える強度を確保する。  
単体で使用する場合の埋込穴・取付ボルトの寸法は、図1を参照してください。  
連結で使用する場合の埋込穴・取付ボルトの寸法は、図2を参照してください。  
連結には連結金具(別売)を使用し、図3にしたがい取り付けてください。
- 取付ボルトの出代は本体内容25mm以下にする。  
取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。
- 給電ケーブルを止めているオレンジ色テープはランプ取り付け直前にはがす。

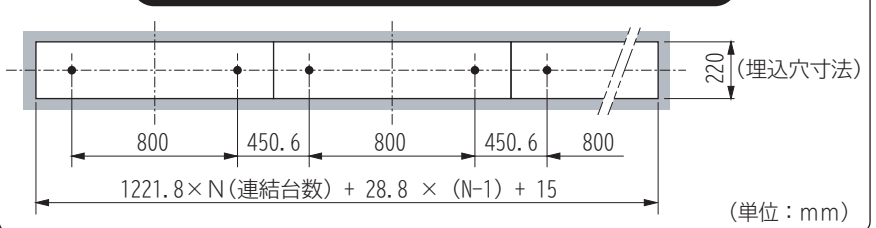
器具質量 (表1)

| 器具形式          | 灯数 | 器具質量<br>(ランプ含) |
|---------------|----|----------------|
| TME4232-JM14E | 2  | 3.8 kg         |

単体で使用する場合の取付ピッチ (図1)



単体N台連結で使用する場合の取付ピッチ (図2)



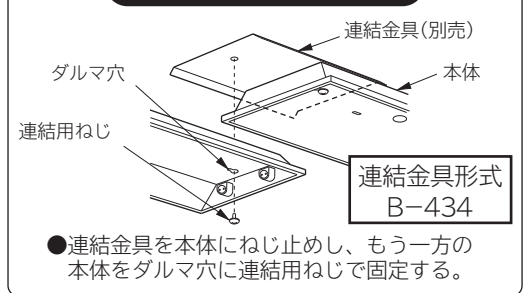
## 2 器具本体を取付ボルトで確実に取り付ける。

- 電源線・アース線を電源穴(ブッシュ付)から引き込んでおく。  
他の電源穴から引き込む場合は、ブッシュを付けかえてください。

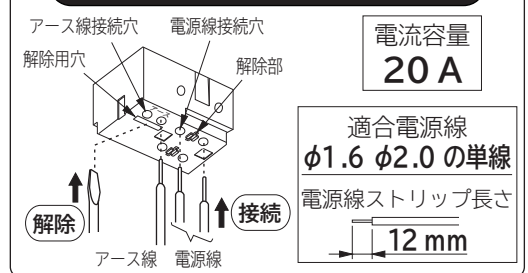
## 3 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図4)

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
- 反射板で挟まないよう電線を処理する。
- アース工事はD種接地工事を行う。
- 電源線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してはずす。  
アース線を解除する場合は、マイナスドライバーを解除用穴に挿入してはずす。

連結のしかた (図3)



電源端子台の接続と解除 (図4)

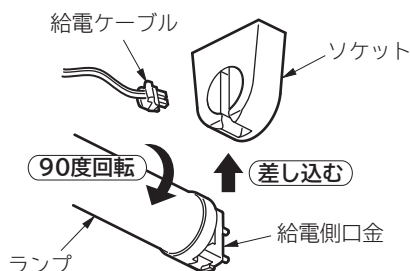


## 4 反射板を確実に取り付ける。

- 反射板の切り欠き部を本体の切り起し部に引っ掛ける。次に、反射板を内側にすぼめて、もう一方の切り欠き部を引っ掛ける。
- 反射板を取り付ける際は、電線の挟み込みに注意する。

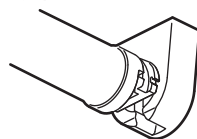
## 5 ランプ～給電ケーブル～給電部カバーを確実に取り付ける。

1. 給電ケーブルと給電側口金の位置を合わせ、ランプをソケットに差し込み90度回転させる。

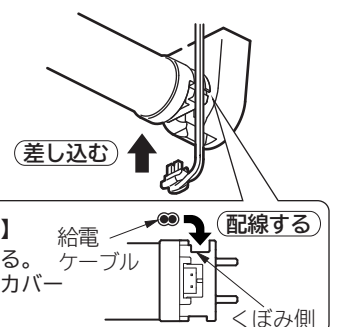


2. ランプが確実に取り付けられているか確認する。

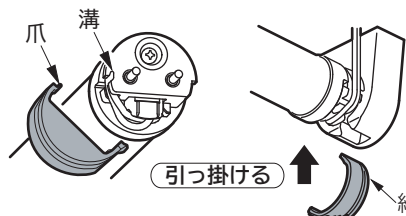
\*ソケットは回転式で90度回転するごとに 固定 ⇄ 解除 となります。



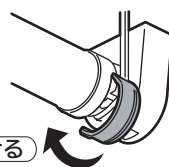
3. 給電ケーブルを差し込む。



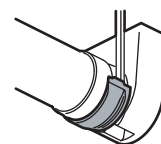
4. 給電部カバーの爪を給電部口金の溝に引っ掛ける。



5. 給電部カバーを確実に取り付ける。



6. 取付完了



## 6 工事完了後にランプが正常に点灯するか確認する。

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

### ⚠ 警告

- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行う。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。

### ⚠ 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。  
※火災の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしない。※火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- ランプに物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。  
※ランプの破損によりけがの原因となります。
- 落としたランプは使用しない。※感電・落下によるけがの原因となります。

### ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。  
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。  
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一ランプ内でもLED素子のバラツキによる発光色のむら、明るさのむらが生じる場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

■照度補正形の機能説明は、別紙「照度補正機能について」をご参照ください。

# お手入れ・ランプ交換

(必ず電源を切ってから行ってください)



必ず守る

●ランプ・反射板（ルーバ）がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

●お手入れなどでランプをはずす場合は、2ページ「取り付けかた」の逆の手順で行ってください。再度取り付ける場合は、「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。不備がありますと、落下してけが・ランプの破損の原因となります。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。またランプ・器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

●点灯中や消灯直後は、ランプが高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。



必ず

本器具は日立直管形LEDランプ専用です。ランプ交換の際は、下記日立製ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・感電・落下・器具の破損の原因となります。

適合LEDランプ

LDK40SS・\*/31/\*\*E

LDK40SS・\*/28/\*\*E(D)

LDK40SS・\*/20/\*\*E

LDK40SS・\*/18/\*\*E(A)

## 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。
- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111